

これからの「介護保険制度の在り方」を問う

質問者 村 山 正 利

老人福祉制度は、高齢化率5.7%の1960年代から始まり、高齢化率の上昇や医療が必要でない生活の支援（介護）が増える中で、政策転換を余儀なくされた。2000年には施設介護から在宅介護に移行し、核家族負担の軽減や高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みで「介護保険制度」が創設された。

20年が経過し、幾度となく改正が行われている。これからの制度維持についての課題や今後の在り方について町長の所見を伺う。